



大野市教育委員会たより

令和元年10月4日発行 第23号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町 1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。つきましては、先般、出席しました「まちづくり懇談会」の結果概要について、お知らせします。

主催：大野地区第1地区区長会

開催内容：まちづくり懇談会（小中学校再編計画について）

開催日：9月27日（金）午後7時～8時35分 場 所：秋葉集会所

出席者：大野地区第1地区区民（50人）、教育委員会（4人）

説明内容：（1）教育長の願い、（2）学校再編の取組みの経過、（3）学校再編計画の内容など

※以下は、「まちづくり懇談会」の主な概要です。

※区民からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

（1）開会挨拶（大野地区第1地区区長会会長）

本日は、学校再編を主題にして、まちづくり懇談会を開催した。学校再編について、忌憚のない意見をさせていただきたい。

（2）教育長挨拶

平成29年1月に教育委員会で策定した小中学校再編計画については、学校の校数や再編する時期、再編後の学校を新築にするかどうかの方法を見直しすることとしている。そのための取組みとして、今年は、5月に「教育シンポジウム」を開催し、その後、小中学校や保育所・子ども園・各地区にて「教育環境に関する意見交換会」を順次行っている。また、小中学生にも学校についてのアンケートを行っている。教育については、ある程度の規模が必要と考えており、何らかの形で学校を再編していかなければならないと考えている。

（3）説明概要

- ・教育長の願い、目指している教育について
- ・平成16年度から今年度までにおける学校再編の取組みの経過について
- ・平成29年1月に策定した小中学校再編計画の概要について
- ・事前質問に対する回答について

（4）説明後の質疑応答

◎なぜ、再編をするのか。情報公開で公開文書を黒塗りにしたのはなぜか。統廃合すると教育環境は良くなるのか。

⇒■子どもたちが社会生活を営んでいく上で、ある程度の大きさの集団は必要である。これからの時代は、自分の考えをしっかりと持って行動する、周りの人と話し合っって結論を出していく、このような力がプラスで求められる社会となる。そのため、教育において、ある一定程度の集団が必要だと考えている。公開文書を黒くしていたのは、学校教育審議会の委員がどのような意見を言っていたのかが公になると、その委員に迷惑が掛かるのではないかという配慮をしたからである。

⇒■教育環境を良くするために、再編は必要と考えている。小学校では、現在、それぞれの規模が違う。特に複式学級を持つ学校では、音楽で合唱や輪唱が出来ない、体育で団体競技が出来ない状況である。また友達も

限られた数でしか作ることが出来ない。どの子どもにも同じ教育の環境を作っておくべきではないかと思う。中学校では部活動の選択の幅が限られている。また、音楽や美術、技術などの専任教員がいない学校もある。このような環境を良くしていくために、再編は必要と考えている。

⇒◎部活動ができないから、人数を集めるのに統廃合をするなんて私は考えたことがない。競争するために人を集めるのか。学年が違って、兄弟でも切磋琢磨は出来る。人数を集めることで教育環境が良くなるとは理解できない。複式学級でも悪くない。普通の大人になれる。「合唱や輪唱が出来ない」は極端な例である。1人だったら独唱は出来る。統合するのが前提にあって、それに理由をこじつけているようにしか聞こえない。言いくるめようとしている感じに聞こえる。学校を建てるというのが、どこに建てるのか。勝山市は、再編で中高一貫というビジョンを持っている。大野市の再編はビジョンが見えない。どこに建てて何がしたいのか。自信を持たせる、いじめをなくすということは、統廃合に関係ない。

⇒■平成29年1月の学校再編計画に学校教育ビジョンを定めていたが、勝山市のようなビジョンではない。現在、小中学校から順に意見交換会に回っているが、複式学級はそのままで良いとか、中学校を早く再編して欲しいなど様々な意見をお聞きしている。それぞれの意見を基に、再編計画の見直しを進めていくこととしている。今の意見も1つの意見としてお聞きし、良い教育環境を検討していきたい。

◎富田小に蕨生や森目の子どもがスクールバスで通っている。一番早くバスに乗る子どもは何時に乗って、何時ごろに学校へ着くのか。バスに乗る時間が長くなり、学校に着く頃に子どもは疲れてしまうと考える。再編すると、現状よりも長く乗らないといけなくなり、状況が悪くなるのではないかと。

⇒■今年、市内のスクールバスすべてに乗車した。富田小のバスは、最長で12～13分で学校に着いている。阪谷小では六呂師や松丸から各1台を利用し、勝原からは4人がタクシーで富田小へ、上庄小は路線バスであるジャンボタクシーを利用している。意見交換会やアンケート結果を見ると、登下校のことを一番心配されている。現在のような時間で学校へ着けると良いと思っている。通学時間については、コースやバスの台数、停留所などについて丁寧に検討していく必要があると考えている。

◎児童生徒の人数の変遷が分からない。人数が減れば統合は当たり前と思っている。中学校1校にする際の人数の変遷を説明した方が説得力がある。

⇒■再編計画時の想定人数は、中学校は平成28年の870人の生徒数が令和5年度に688人で、約200人減ると想定していた。小学校は平成28年の1,554人の児童数が令和8年度に1,153人で、約400人減ると想定していた。

⇒◎688人は1つの学校で対応できるのか。

⇒■1学年約210～250人と想定し、1学級の定数が1学年30人、2・3学年32人であるため1学年の学級数は7～8となる。小学校は、1学級の定数が1～4学年35人、5・6学年36人であるため、各学年の学級数は3～4となる。

⇒◎8学級は多い。マンモス校ではないか。4学級が良い。

⇒■その想定人数から10年後はさらに減り、中学校では500人を切っていく推計となっていたため、このような計画となった。

⇒◎子どもの数の推移を見て納得した。配付資料に推移データを掲載し説明した方が良いと思う。



◎県内では、高志高校が中高一貫を行っているが、大野市ではその考えはないのか。今、大野高校の校舎は空いている。そのスペースを利用して中高一貫を行えば、新校舎を建てなくてよくなり、無駄なお金を使わなくて済むと思う。

⇒■そういう発想もあると思う。勝山市はそのような方向性を出している。高校は県立、中学校は市立であり、

調整がかなり必要ではないかと思う。仮に、開成中と大野高校を一緒にした場合、技術系の高校へ行きたい生徒はどうするかなどの課題はある。学校の形については、今後検討することとなるが、いずれにしても子ども達が行きたいと思う学校、保護者が安心して送り出せる学校、これが根本にあると思っている。

◎9月議会の一般質問で、乾側小学校が構造上問題があるということで、旧蕨生小へ移転するとのことだが、教育委員会の考えが分からない。平成16年の計画では、平成19年に乾側小を有終西小に分校に、5・6年生は有終西小へ通うとされている。

⇒■子ども達の安全安心を最優先した。平成19年の再編では地区との話がまとまらず、その後、子どもの人数がさらに減ったため、平成25年から再度再編の議論が始まり、平成29年再編計画を策定し、再編を進めようとしたが進まなかった現状がある。このような経過の中で校舎の耐震化がそのままとなった。耐震性のない校舎であるため、一刻も早く安全を確保したいとの思いである。

⇒◎なぜ近くの有終西小へ行かせないのか。旧蕨生小まで通学が大変である。

⇒■乾側小の保護者の考え方も様々である。私たちは、乾側小の保護者や未就学児の保護者、地区の方々と話し合いをしてきた。出来る限り早く、旧蕨生小から戻してあげたいと思っている。

⇒◎子どもの安全を第一に考えてやって欲しい。

◎各学校を何億もかけて耐震をしているのに、なぜ新築をしなければならないのか。なぜ後世に借金を残さないといけないのか。

⇒■平成29年1月に策定した計画では、3校とも新築としている。現在、新築することも見直しの対象となっている。新築するのか、現在の校舎を活用できないかなどを今後検討する。

⇒◎新築することになった場合にも、みんなに諮ってもらえるのか。いつの間にか新築することになったとにならないように。見直ししたけど、やっぱり元のままというのも見直しである。ごまかすのを止めて欲しい。市民が選んだ議員が納得するように議会で説明して欲しい。

⇒■検討がどのように進んでいるかなど、情報公開をしっかり行っていきたい。本日の意見結果についても班回覧で情報共有できるようにしていく。

◎具体的な案がない。何のために今日、開催したのか分からない。小学校は地域に根付いた文化や伝統が大きく関わっている。2校になった時、地域にあった文化や伝統はどうなるのか。広い目で学校再編を考えて欲しい。

⇒■今年度は、いろいろな意見を聞いて回っている。「中学校2校、小学校4校ぐらいがいいのではないか」、「今の校数のままで良い」、「再編計画のまま進めて欲しい」、「小学校と中学校の役割が違うのではないか」など様々な意見を聞いている。出来るだけ早く、具体的な案を皆さんに示し、意見を伺う予定である。



(3) 閉会挨拶（大野地区第1地区区長会副会長）

活発な意見や質問があった。市議会議員や全区長出席の元でまちづくり懇談会を開催することができた。学校再編計画はこれからの計画である。みなさんの意見をまとめていきたいので今後の協力をお願いする。

お忙しい中、ご出席いただきました区民の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。

